

2025 年度事業計画書

公益財団法人日本学生航空連盟

2025 年 4 月 1 日

2025 年度事業計画書

計 画 内 容	主 担 当
<p>I. 基本方針</p> <p>「青少年の心身の健全な発達と航空文化の発展に寄与する」と云う連盟の目的を達成するため、①「グライダースポーツの教育訓練」、②「グライダースポーツの競技会開催」、③「航空スポーツの普及啓蒙」の公益事業を、以下の考え方に基本に進める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 一人ひとりが安全意識を持ち続けることが出来る組織運営を目指し、グライダーの安全運航を最優先する。 2. 学生が自主的に運営する組織を目指し、運営できる学生を育て、エアマンシップを身に着け、社会人として通用する人材を育成する。 3. 連盟の組織努力と地域社会との共生により持続可能な発展を目指す。 	<p>全担当</p>
<p>II. 公益事業</p> <p>1. グライダースポーツの教育訓練並びに安全な教育訓練システムを維持・改善する。</p> <p>(1) 訓練指導</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 訓練所長・認定指導員の集団指導体制による地区ごとの安全運航を指導する。 ② 各訓練所の情報を集約し、安全・効率的な訓練指導・情報提供を行う。 ③ 訓練用共通シラバス・教材を必要に応じ更新する。 ④ 共通学科シラバスの計画的な座学実施を促進する。 ⑤ 操縦教育証明・航空運航整備士(滑空機)の資格取得者へ取得費用の経費助成を継続実施し、各5名を目標に若手指導員の育成を支援する。 ⑥ 妻沼滑空場(全国大会開催滑空場)への他地区選手候補者受け入れ校調整・促進を継続する。 ⑦ 妻沼滑空場での他校学生用発航枠(ベストシーズンに限定)の提供体制を維持する。 ⑧ 操縦飛行経歴を保有し、飛行に空白期間がある指導員に復帰プログラムを提供する。 ⑨ 安全かつ効率的な教育訓練システムの改善について具体的取り組みを支援する。(LSA 飛行実験参画開始、インストラクターマニュアル、関東共有4機の運航体制化、シミュレーター教育等) 	<p>教育訓練担当 総務担当</p> <p>地区運営委員会 との共同</p>
<p>(2) 安全管理・教育・しつけ</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 安全管理指導等を目的に安全管理会議を原則月一回開催する。また、課題が発生した場合には臨時会議を随時開催する。 ② 安全情報(ヒヤリハット等)を各訓練所から収集し、情報共有化体制を強化させる。(月1回の集計・公開) ③ ヒヤリハット集から重要度の高い課題に対し、注意喚起の方策を検討し、一人一 	<p>教育訓練担当 競技会担当 総務担当</p>

<p>人が安全運航意識を高める指導をする。</p> <p>④ ヒヤリハット公開について(公財)航空輸送技術研究センター(ATEC)との連携を図る。</p> <p>⑤ 安全運航に関する注意喚起情報を積極的に発信する。</p> <p>⑥ 安全運航に関する安全管理規程等関連規程規則を適宜改正する。</p> <p>⑦ スローガン「2025年度安全運航・事故ZERO・365」を入れたポスターを作成し、5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)活動を進める。</p> <p>⑧ 「安全の日5月17日」を中心に、全国安全講習会(ZOOM)を継続的に開催し、また各校合宿時にスピン初動科目の実施を推奨すると共に安全管理規程を周知する。</p> <p>⑨ 異常姿勢(スピン)からの回復訓練を地区ごとに実施する。</p> <p>⑩ メンタルトレーニングの研修会を開催する。(学生、指導員他)</p> <p>⑪ 二等航空運航整備士取得コースを再開する。</p>	
<p>(3) 航空従事者指定養成施設の運営</p> <p>① 自家用操縦士を年間50名目標に育成する。また、別途CAB受験者を10名育成する。</p> <p>② 各校合宿時のコース開設を基本とし、指定養成担当がコース運営のため指導員、機材、技能審査などのスケジュール調整を実施する。</p> <p>③ 学科・実技教官の新規任用を進める。</p> <p>④ 技能審査員の新規任用を進める。</p> <p>⑤ 技能審査員の任用資格拡大を航空局と継続交渉する。</p> <p>⑥ 航空従事者指定養成施設関連規程の改訂・管理を実施し、制度の適切な運用を図る。</p> <p>⑦ 指定養成スタッフの安全管理会議、教官会議、担当者会議、教官研修会を実施する。</p> <p>⑧ 指定養成テキストを継続的に改正する。</p> <p>⑨ 指定養成施設開所、技能証明申請等の航空局対応業務を行う。</p>	<p>教育訓練担当 総務担当</p>
<p>(4) 指導員等の認定</p> <p>① 規程に基づき、訓練所長等の推薦により認定証を発行する。</p> <p>② グライダーウィンチマンへの研修と技能確認、認定を行う。(訓練所長が随時)</p>	<p>教育訓練担当 総務担当</p>
<p>(5) グライダー、航空機その他関連機材の体制・整備・購入等を継続検討する。</p> <p>① 曳航用航空機体制の検討(飛行機、LSA、モーターグライダー、その他)</p> <p>② 関東地区運営委員会に関東共有機整備委員会を設置する。</p> <p>③ 関東共有機の計画的整備と運用</p>	<p>教育訓練担当</p>

<p>(6) 公共サービスの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 妻沼、久住滑空場においてフライトサービス局を運営する。 ② 国土交通省試験官の技量保持訓練及び運輸安全委員会委員の研修会を可能な範囲内で受託する。 ③ その他滑空場施設等の利用希望に対して柔軟に対応する。(ドローン、撮影) 	<p>教育訓練担当 総務担当</p>
<p>2. グライダー競技会等の主催及び共催、後援</p> <p>(1) 主催競技会等の日程を検討・決定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 全日本学生久住山岳滑翔大会を8月に開催する。 ② 全日本学生グライダー新人競技大会を9月に開催する。 ③ 全日本学生グライダー競技大会を3月に開催する。 (以上朝日新聞社と共催) ④ 9km圏外へのクロスカントリー研修会(基本複座機)を3月に開催する。 <p>(2) 各地区競技会(兼全国大会予選)を開催する。(後援:朝日新聞社)</p> <p>(3) その他競技会、対抗戦等を後援する。</p> <p>(4) 競技会規定・規則・細則等を必要に応じ改正を行う。</p> <p>(5) 大学スポーツ協会と連携し全国大会のライブ配信を進める。</p> <p>(6) 主催競技会に関する後援依頼、その他準備業務を行う。</p> <p>(7) LORA システムによるグライダー競技の見える化を進める。</p> <p>(8) ソアリングシュミレーター等による全国競技会の開催を検討する。</p>	<p>競技会担当</p>
<p>3. 航空スポーツの普及</p> <p>(1) グライダースポーツ全般の広報活動として、新聞、書籍、テレビ、映画、その他メディアに対応する。</p> <p>(2) 機関誌「方向舵」等とホームページによる情報を発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 機関誌「方向舵」を年間2回発行する。(160号、161号) ② ホームページを通じて活動内容を広報する。 ③ 空域や航空法規など官公庁との調整結果を広報する。 ④ 安全情報の公開および安全飛行の普及を行う。 ⑤ 日本滑空記章、国際滑空記章の取得を推奨する。 	<p>普及啓蒙(広報・渉外)担当 他全担当</p>
<p>(3) 滑空場・周辺地区との交流活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 滑空場地域・商店街等のイベントに積極参加する。 妻沼(葛和田地区)小学校イベント、木曾川背割堤さくらまつり 等 ② 市民講座、親子講座など航空に関する講習会を支援する。 ③ 地元市民向け搭乗会を地区法人、加盟大学航空部、地元グライダークラブと連携し実施する。 	<p>普及(広報・渉外)担当 総務担当</p>
<p>(4) スカイスポーツフェスタ等への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 「埼玉スカイスポーツフェスタ」に主要団体として参加し、市民40名体験搭乗を 	<p>普及(広報・渉外)担当</p>

<p>成功させる。(2025年10月)</p> <p>② 福井空港フェスティバルへ参加する。</p> <p>③ 「スカイフェスティバル小島」へ後援団体として参加する。(体験搭乗等)</p> <p>④ 「熊谷基地さくらまつり」へグライダー展示に参加する。</p>	
<p>(5)生涯スポーツとしてグライダー活動の支援</p> <p>① 賛助会員を中心としたグライダーOB/OG搭乗会を実施する。</p>	<p>教育訓練担当</p> <p>普及啓蒙(広報 渉外)担当</p> <p>総務担当</p>
<p>(6)国際交流</p> <p>① (豪) Tocumwal Soaring Centre (TSC)との連携を進める。</p>	<p>教育訓練担当</p> <p>総務担当</p>
<p>(7)(一社)大学スポーツ協会(UNIVAS)</p> <p>① 大学スポーツ協会へ会員として参加する。</p> <p>② 大学スポーツ協会の主催する、各種講習会を加盟校へ紹介する。</p>	<p>総務担当</p> <p>その他全担当</p>
<p>(8)(公社)日本滑空協会・ATECへの参画</p> <p>① 滑空協会各種委員会に参加し、日本グライダー界の課題解決に寄与する。(クラブミーティング委員会、インストラクター委員会、安全委員会等)</p> <p>② 社会人グライダー団体との連携を図る。</p> <p>③ ATECに参加し、ヒヤリハット情報の提供と活用を進める。</p>	<p>教育訓練担当</p> <p>総務担当</p> <p>訓練所長</p>
<p>Ⅲ. 公益業務遂行体制と関連業務</p> <p>1. 訓練所の運営</p> <p>(1) 妻沼、木曾川、白川、久住各滑空場と福井空港の5ヶ所で訓練所を運営し、必要な保守並びに安全管理を行う。</p> <p>① 訓練所の防災体制を確認する。</p> <p>② 熊谷市をはじめ関係先と、妻沼訓練所・妻沼滑空場の移転問題をプロジェクトチーム中心に交渉を継続する。</p> <p>③ 滑空場諸施設(宿舍、会議室、格納庫、滑走路等)の管理、連盟共有機材(滑空機、曳航用ウインチ、車両、重機東の運用を地区法人へ業務委託する。</p>	<p>総務担当</p> <p>教育訓練担当</p> <p>滑走路&宿舍検討プロジェクト</p>
<p>2. 総務担当業務</p> <p>(1) 事業計画書(案)を作成する。</p> <p>(2) 4月下旬に慰霊祭、安全祈願祭を開催する。(朝日新聞社共催)</p> <p>(3) 日本学生航空連盟ガバナンスコードに関連する、諸規程を継続整備する。</p> <p>(4) 滑空場別諸統計として、各地区活動実績の年間統計表を作成する。</p> <p>(5) 連盟組織の役員・職員人事案を検討する。</p>	<p>総務担当</p> <p>その他全担当</p>

- (6) 諸規程の整備を継続的に実施する。
- (7) グライダースポーツ手帳を改訂発行する。
- (8) 学連データベース、ホームページを充実させる。
- (9) 連盟全体のコンプライアンス問題に対応する。
- (10) 連盟内活動のハラスメント問題に対応する。(ガイドラインを周知する)
- (11) ハラスメントに関する連盟内アンケートを実施する。(第2四半期)
- (12) 地区運営委員会と地区法人の役割と連携について継続指導する。
- (13) 「ふるさと納税制度」の活用を推進する。
 航空部員支援………地元自治体制度(保護者対象)
 航空部支援………東京都港区制度、(OB/OG 対象)
- (14) 環境貢献と事務の合理化を進める。
 - ①再生紙の利用とペーパーレス化を進める。
 - ②事務面の押印制度を削減する。
- (15) 学生ボランティア活動等の整理とボランティアが業務執行に参画する体制を更に継続整備する。(SSF、OB/OG 搭乗会)
- (16) 公益財団法人運営に関するセミナーに参加する。
- (17) 新橋事務所の運営を行う。
- (18) 各地区の設備更新計画(概略)を作成する。
- (19) 学生組織基盤の強化
 - ① 学生役員にアンケートを実施し、学生のニーズを継続調査する。
 - ② 新入部員募集ポスターを作成する。
 - ③ 加盟校学生部員数の拡大を進める。

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年目標
関東	422	446	474	501	510
東海	85	85	87	97	100
関西	196	216	206	220	230
西部	93	111	87	86	100
合計	796	858	856	904	940

- (20) 評議員会・理事会、その他会議の開催と参加
 - ① 評議員会(6月14日)を開催する
 - ② 理事会(5月24日、6月14日、11月15日、2月28日)を開催する。
 - ③ 女性役員を登用する。
 - ④ 地区連絡会協議会(11月)を地区連絡会代表者に加えて地区運営委員会幹事長をメンバーとして開催する。
 - ⑤ 地区連絡会の活動(地区学生委員会、地区運営委員会、航空部長会等)を支援する。

総務担当
その他全担当

<ul style="list-style-type: none"> ⑥ 中央学生委員会の自主的活動を支援する。 ⑦ 学連創設 100 周年に向けて「100 周年委員会」(仮称)を設置し100周年に向けて、学生、指導員に広く意見を求める。(頂いた書簡を保管するデータアーカイブの構築を準備する。 ⑧ その他事務局定例ミーティングを含め必要な会議を主催する。 	
<p>(21) 関連官公庁への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 総理大臣官邸、内閣府、文部科学省、スポーツ庁、総務省への対応を行う。 ② 国土交通省航空局への対応を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ア)法 60 条、79 条、91 条、92 条等の申請を取りまとめる。 イ)滑空場訓練空域を調整する。 ウ)その他航空局との折衝・情報交換等を行う。 ③ 各地区航空自衛隊との飛行連絡会等へ参加する。 ④ 入間基地、(米軍横田基地)と妻沼滑空場周辺の空域調整を行う。 ⑤ 埼玉県、岐阜県、大分県、熊本県、福井県、熊谷市、大泉町、千代田町、海津市、羽鳥市、愛西市、大野町、坂井市、竹田市、熊本市等への対応を行う。 	<p>総務担当 その他全担当</p> <p>地区運営委員会・地区法人と連携</p>
<p>(22) 無線局の管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ① フライトサービス・関東共有機の無線管理と無線従事者の選解任を行う。 ② HF 無線機無線機新機種 of 斡旋を行う。 ③ HF 無線機無線従事者の選解任を行う。 	<p>総務担当 教育訓練担当</p>
<p>3. 経理担当業務</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 予算書(案)・決算書(案)を作成する。 (2) 会計処理規程・旅費規程に基づく経理処理を行う。 (3) 公益財団への寄付金に関する業務を行う。 (4) 「ふるさと納税制度」に関する業務を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ① 効率的な対応手順を確立する。 (5) 保有資産の管理と資産運用を検討する。 (6) 職員の給与・社会保険業務を行う。 (7) 新橋事務所の庶務全般業務を行う。 	<p>総務担当</p>
<p>4. 広報・渉外担当業務</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)主催競技会の広報 <ul style="list-style-type: none"> ① 全国大会状況の WEB 配信を大学スポーツ協会と連携して進める (2) 協賛企業並びに賛助会員の増強 <ul style="list-style-type: none"> ① 個人賛助会員制度を維持する。 ② 賛助会員に「方向舵」を配布し魅力ある情報を提供する。 	<p>普及啓蒙(広報・渉外)担当 総務担当・ 教育訓練担当</p>

<p>(3) 連盟組織内広報（コミュニケーション）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 理事会、評議員会、地区連絡会協議会などの議事録を地区法人も含め、出来る限り公表してゆく。 ② 「JSAL連絡ニュースを年4回、四半期末に作成し、連盟の活動を広く連盟関係者に共有する。 ③ 新入部員の多い大学の新生勧誘活動を紹介する。(9月) ④ 「メール連絡」、「ZOOM 等会議」、「ホームページ」、「方向舵」を積極的に活用する。 ⑤ コミュニケーションツールとしての「LINE」利用する。 	<p>総務担当 普及啓蒙(広報・渉外)担当</p>
<p>5. 新規開拓事業</p> <p>(1) 加盟学生の増加に対応するため、活動可能な滑空場との提携を継続検討する。</p>	<p>総務担当 全担当</p>

2025年度 日本学生航空連盟主イベント

4月

ヒヤリハット発行(新人教育を確実にマンツーマンで育成を)
 JSAL ニュース発航(4~3月)
 運営会議(毎週月曜日)・安全管理会議兼訓練所会議(第三月曜日)
 4月27日慰霊祭(久住)
 熊谷基地 さくら祭り(機体展示)
 スカイフェスティバル 小島(熊本)
 木曾川背割堤さくらまつり(木曾川)

5月

「安全の日(5月17日)」に全国安全講習会を開催(zoom)
 ヒヤリハット発行
 運営会議(毎週月曜日)・安全管理会議兼訓練所会議(第三月曜日)
 理事会(決算)
 指導員研修会 & 指定養成教官会議(関東)

6月

ヒヤリハット発行
 運営会議(毎週月曜日)・安全管理会議兼訓練所会議(第三月曜日)
 指導員講習会
 評議会・理事会(人事)
 各訓練所 大掃除(整理整頓清掃清潔)

7月

ヒヤリハット発行(熱中症注意)

JSAL 連絡ニュース発行(4~6月)
運営会議(毎週月曜日)・安全管理会議兼訓練所会議(第三月曜日)
OB・OG 搭乗会

8月

ヒヤリハット発行(熱中症注意、ターポリン注意)
運営会議(毎週月曜日)・安全管理会議兼訓練所会議(第三月曜日)
全日本学生久住山岳滑翔大会(久住)
熊谷市「わくわく探検隊」(妻沼)
異常姿勢回復訓練関東(○日)

9月

ヒヤリハット発行(台風対策)
運営会議(毎週月曜日)・安全管理会議兼訓練所会議(第三月曜日)
全日本学生グライダー新人競技会(木曾川)
異常姿勢回復訓練関東(○日)

10月

ヒヤリハット発行(幹部交代時期、ポカミスないように)
JSAL 連絡ニュース発行(4~9月)
運営会議(毎週月曜日)・安全管理会議兼訓練所会議(第三月曜日)
埼玉スカイフェスタ
関東大会(地区予選)
東海関西大会(地区予選)
西部大会(地区予選)

11月

ヒヤリハット発行
運営会議(毎週月曜日)・安全管理会議兼訓練所会議(第三月曜日)
理事会(臨時)・地区連絡協議会

12月

ヒヤリハット発行
運営会議(毎週月曜日)・安全管理会議兼訓練所会議(第三月曜日)
各訓練所 大掃除(整理整頓清掃清潔)
指定養成担当者会議&教官会議
異常姿勢回復訓練関東(○日、○日)

1月

ヒヤリハット発行(強風注意、寒気対策を万全に)
JSAL 連絡ニュース発行(4~12月)
運営会議(毎週月曜日)・安全管理会議兼訓練所会議(第三月曜日)

入間基地との空域調整

2月

ヒヤリハット発行(ベストシーズン。他機警戒を怠るな)

運営会議(毎週月曜日)・安全管理会議兼訓練所会議(第三月曜日)

理事会(予算)

指定養成安全管理会議・担当国会議

3月

ヒヤリハット発行

安全管理会議兼訓練所長会議(第三月曜日)

全日本学生グライダー競技大会(妻沼)

クロスカントリー研修会・記録会を開催する(妻沼)

以上